



# 中野駅周辺の バリアフリーを推進!



## ●中野通りに点字ブロックを設置

中野駅北口の区役所前交差点から区社会福祉会館までの歩道に点字ブロックが設置されました。

障害者が頻繁に利用する社会福祉会館は、JR中野駅北口から中野通りの歩道を直進しなければいけません。歩道は人通りが多い一方、点字ブロックが途中の区役所前交差点で途切れていました。区視覚障害者福祉協会の黒木京子理事は「どこを歩いているか分からず、街路樹や看板にぶつかったり、車道に出てしまうこともあった」と振り返る。

実情を知った公明党区議団は、予算要望や議会質疑などを通じて推進。私も高倉良生都議と連携し、ようやく点字ブロックの設置が実現しました。

同協会の高橋会長は「私たちの声を真剣に受け止めてくれた公明党の皆さんに感謝してます」と話していました。

公明党は中野区において、障害者・高齢者などに配慮するバリアフリーだけでなく、個人差、国籍の違いなどに配慮するユニバーサルデザインを推進しました。さらに心のバリアフリーもすすめていきます。



点字ブロック設置の喜びを語る黒木さんと

## ●中野区区役所1階トイレに音声案内装置が設置

29年9月に私が議会で要望しました音声案内装置が、6月から区役所1階に設置をされました。

これは視覚障害者にとってトイレの入口が男女の区別が認識しにくいという声を実現したもの。都では公明党の高倉良生都議会議員の提案で、都庁、都営地下鉄、都立公園ですでに設置されています。

トイレ前の点字ブロックに立つと「男性は右です。女性は左です。」と音声流れます。区役所1階は区の顔ともいえ、ユニバーサルデザインの象徴として音声案内がされていると、ご理解いただければと思います。



## 中野駅周辺まちづくりのために先進事例を視察

7月25日、所属する中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会で、民間活力で再生した天王寺公園と日本一高い「あべのハルカス」、翌日には蔦屋書店が入る大阪府枚方市のT-SITEを視察。民間の力を活かす効果を学びました。

また11月19日には、大きく変貌をしている渋谷駅周辺の大型再開発が進む工事現場を見学。音楽やファッション、グローバルな交流の場など様々な顔を持つまちづくり、動きやすく、災害に強い整備など中野駅周辺のまちづくりにもしっかり参考にしていきます。



渋谷駅大型開発の  
工事現場にて



天王寺公園から  
あべのハルカスを望む